

朗読会

朗読会は講演とセットの催しです。

6月29日(土) 13時35分～14時15分

<安曇野市穂高交流学習センター「みらい」>

多目的ホール(安曇野市中央図書館)>

伊東秀一さん

「わが児に与う」『暗黒日記』(清沢洌)より



テレビ信州解説委員兼アナウンサー。1965年長野市出身。上田市・無言館の朗読会『戦争を読む』出演ほかナレーション多数。信州大学特任准教授

7月21日(日) 13時35分～14時05分

<諏訪市図書館 視聴覚ホール(2階)>

中澤由佳さん

『小説に書けなかった自伝』(新田次郎)



岡谷市在住の朗読家 中澤由佳 朗読教室主宰 朗読・読み聞かせボランティアグループ「言の音の輪」代表 朗読で笑顔の種蒔きをキーワードに朗読活動を行っている。

10月26日(土) 13時35分～14時05分

<飯山市文化交流館なちゅら 小ホール>

藤原里瑛さん

『千曲川のスケッチ』(嶋崎藤村)より

「兎追いし彼の山」(岡田喜秋)



テレビ信州アナウンサー。1984年岩手県出身。『ゆうがた Getlevery』金曜MC・キャスター。ドキュメンタリー番組のナレーション多数

映画会

11月28日(木) 13時～16時 長野グランドシネマズ(長野市権堂町)

参加費 1,000円

13:00～14:40 映画「野菊の如き君なりき」 35mmフィルム上映

一千曲川流域の美しい自然を舞台に綴られる、少年少女のはかない恋のゆくえ。1955年、松竹制作。木下恵介監督。笠智衆、杉村春子等。

14:45～16:00 講演「信州を舞台にした戦後の名作映画」

講師：酒井春人氏



龍鳳書房代表取締役、長野県出版協会代表。著書『図説穂高神社と安曇族』
論文「佐久間象山の思想試論」(『長野県近現代史論集』所収)、「長野県出版界の歩み」等



©1955 松竹株式会社

<お問い合わせ>

長野県図書館協会事務局

TEL.026-217-9201

E-mail nla@nagano-la.com

信州横断

昭和・現代史講座

～現代の視点から信州の昭和・現代史を学ぶ～

第2期 令和6年6月～令和7年2月

長野冬季五輪開幕



(信濃毎日新聞社提供)

★ 受講料無料

ただし11月28日(木)の映画「野菊の如き君なりき」の参加費は1,000円です。

主催 長野県図書館協会・公共図書館部会・企画実行委員会

共催 公益財団法人八十二文化財団・安曇野市教育委員会・諏訪市図書館

佐久市教育委員会・市立飯山図書館・松本市中央図書館

県立長野図書館・信州大学附属図書館

後援 信濃毎日新聞社・信濃史学会・高井地方史研究会・長野郷土史研究会

(1) 戦中から現代を映す鏡・『暗黒日記』

6月29日(土) 13時30分～16時

安曇野市穂高交流学習センター「みらい」多目的ホール(安曇野市中央図書館)

13:35～14:15 朗読「わが児に与う」『暗黒日記』より

14:20～15:50 講演「清沢冽の思想と言論活動—その現代的意義を探る—」

講師：渡辺知弘氏



(2) 信州を舞台にした戦後の文学作品

7月21日(日) 13時30分～16時 諏訪市図書館 視聴覚ホール(2階)

13:35～14:05 朗読『小説に書けなかった自伝』

14:10～15:50 講演 新田次郎の『霧の子孫たち』

講師：堀井正子氏



(3) 若者と長野県現代史

7月30日(火) 13時30分～15時30分 八十二別館 4階 AV研修室

13:35～15:05 講演「若者が学ぶ長野県現代史

—身近な歴史事象(教材)に問いかける—」

講師：望月 誠氏

本講座は事前申込制です。電話または八十二文化財団ホームページよりお申込みください。

Tel 026-224-0511 URL <https://www.82bunka.or.jp/>



(4) 戦後の女性の社会参加

9月14日(土) 13時30分～15時30分 佐久平交流センター 視聴覚室(3F)

13:35～15:05 講演「生きている限りは自分を新しく

—もろさわようこを読む—」

講師：河原千春氏



★いずれも講演後に意見交換会を予定しています。

★朗読会の詳細は裏面を参照してください。

(5) 千曲川と飯山—新たなふるさとづくり～高野辰之と島崎藤村～

10月26日(土) 13時30分～16時10分 飯山市文化交流館なちゅら 小ホール

13:35～14:05 朗読『千曲川のスケッチ』より・「兎追いし彼の山」

14:10～15:00 講演①「故郷の川 千曲川と生きる」

講師：寺島正友氏

15:05～16:00 講演②「小説『破戒』を通じて 郷土を知る」ある取組み

講師：藤田温彦氏・藤田理世氏



(6) 特別講座

1月18日(土) 15時～17時 あがたの森文化会館 講堂

15:05～17:00 講演「戦争はいやだ!」の思想—白鳥邦夫と「山脈の会」—

講師：大串潤児氏



(7) 特別講座

2月9日(日) 13時30分～15時30分 県立長野図書館 3階 信州・学び創造ラボ
サテライト会場：信州大学中央図書館(松本キャンパス)

13:35～15:30 講演：「歴史的類似性から読み解く

—ガザ・ウクライナ・満州—」

講師：鵜飼 哲氏



○渡辺知弘

信濃毎日新聞社報道部デスク。信濃毎日新聞社報道部、佐久支社、諏訪支社などで記者活動。文化部では地域史を担当した。共著『明治維新の残響』。論文「清沢冽の思想史的研究」(『信大史学』第28号所収)、「清沢冽論」(『戦争と民衆の現代史』所収)

○堀井正子

長野市在住。信越放送「武田徹のつれづれ散歩道」レギュラー。カルチャーセンター、八十二文化財団などの講師。執筆担当・信濃毎日新聞「クレソン」の「ことばのしおり」、長野市民新聞「こだま」など。著書に『出会いの寺 善光寺』『日々 ことばのしおり』『一茶さんの子守歌』など

○望月 誠

学校法人 長聖 長野女子高等学校教頭、兼 Summit Academy Secondary School 社会科教諭。2022年度松本大学教育実践改善賞受賞。共著『日本の歴史を描き直す - 信越地域の歴史像 -』(文学通信)『柴村誌 歴史編』(2022年)など

○河原千春

信濃毎日新聞文化部記者。横浜市出身。2007年信濃毎日新聞入社。編著に『志縁のおんな もろさわようことわたしたち』、編集に『新編 おんなの戦後史』(もろさわようこ著)、『沖縄ともろさわようこ 女性解放の原点を求めて』など。お茶の水女子大学大学院ジェンダー社会科学専攻在学中

○寺島正友

高井地方史研究会会長 元高野辰之記念館館長 元県立歴史館文献史料課長 教育学修士。共著『幕領中野陣屋の支配機構と民政』『絵巻と旅する信州』『川と人の営み千曲川 石にぎざまれた願い』『柴村誌』『須坂市誌』『飯山市誌』他

○藤田温彦・藤田理世

定年後に夫婦で豪雪の飯山に東京から二拠点移住。自家ブランド米「かざまつり」の栽培・販売、スキー場勤務、アウトドア・観光ガイドを通じ、飯山の自然・習俗・生活等に興味を持ち、理解を深めるために、信州の生んだ文豪「島崎藤村」の読書会を2年前に始めました。現在、飯山が舞台の小説『破戒』を全国の仲間と楽しんでいます。

○大串潤児

信州大学人文学部教授を経て、2024年から国立歴史民俗博物館教授。主著に『銃後の民衆経験』岩波書店(2016年)、編著に『国策紙芝居 御茶の水書房(2022年)等がある。近年では、戦後長野県の青年団運動についての研究会を主宰している。

○鵜飼 哲

一橋大学名誉教授。専門はフランス文学・思想、ポスト植民地文化論。『テロルはどこから到来したか—その政治的主体と思想』インパクト出版会(2020年)など著書多数。国際秩序を再建し、ガザ即時停戦への道を探る「学者の会」、「中東研究者有志」にも関わる。